

2023年度 年次報告書



特定非営利活動法人COLLECTIVE

目次

01.

はじめに

02.

2023年度活動報告

03.

全国での実践紹介

04.

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

05.

会計報告

06.

団体概要

はじめに

子ども達の未来を育てる

子ども達を取り巻く環境は、劇的に変化しています。2020年には、新型コロナウイルスの流行によりオンラインでの授業が余儀なくされました。小中学校では、1人1台のタブレットが導入され、学生にとってデジタル端末が必須アイテムになり学校のICT化が急速に加速した1年でした。2021年以降も、AIやメタバース、VRといった最先端技術が学校教育との距離を縮めてきているのも事実です。

一方で忘れてはならないのが、気候変動や食糧問題、人権や性差別などの社会問題です。産業の発展とともに多くの社会課題が生まれてきた地球では、新しい社会での未知なる課題に主体的に責任をもって取り組むことができる人材も必要不可欠となります。

これから到来するであろう新しい社会を生き抜くスキルや新たな問いに立ち向かう思考力、正しい判断ができる人間性を学校教育で育てるために、私たち教員がリーダーシップを取っていかなければならないと考えます。

そこでコレクティブでは、子ども達が“未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する”教育機会を届けていくことをミッションに掲げました。教員と社会が協働するコミュニティを実現することで、未来の人材を育成できる学校教育を目指して活動していきます。

Message

私たちは、教員として10年以上現場主義で実践を積み上げてきました。教育を社会と分断させないという思いから、センセイとNPO企業が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。この事業は、児童生徒がより主体的に責任をもって社会と関わり課題解決できる能力を育成するために2018年に始動した教員主体の活動です。これまで、多くの子ども達が社会のリアルに直面することで、課題を自分ごとと捉え責任ある行動をしていく姿を何度も見てきました。子ども達が「未来に触れ、考え、行動する教育」をより多くの現場に届けたい！そんな思いで、この事業を推進しています。

代表理事 秋元 平良

2023年度活動報告



No. 01

EIC2023TOKYO

最先端テクノロジーをもった企業と教員が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。毎年コンテストを開催し、協働による成果を全国へ発信しています。



EIC特設HP

No. 02

社会課題解決プログラム

社会課題に取り組むNPOと教員がコミュニティを構築し、子ども達が地球の未来について探求していくプログラムを提供しています。



プログラム詳細

No. 03

協働的な学び支援事業

公立小中学校、高等学校が協働的に学ぶためのコミュニティづくりを支援しています。また、もっと探求的に学びたい児童生徒のサポートも行なっています。



コレクティブ
スクール

全国での実践紹介

コレクティブでは、学校が社会と協働するコミュニティづくりを目指しています。全国でコミュニティを構築し、授業実践を行っている学校・企業・NPOをご紹介します。

- 社会課題解決プログラム
- EIC（コンテスト）
- 協働コミュニティ事業

中富良野町立中富良野小学校

地域が抱える社会課題の解決を目指し、町と地域人材、NPO法人と協働する実践



Pestalozzi Technology

札幌市立北光小学校

自身の体力を客観的に理解し、個別に適した運動習慣改善に取り組むプログラムを実施



クラーク記念国際高等学校

生成AIを活用した英作文の授業を企業と協働して実践



横浜市立新羽小学校

体育科や総合的な学習の時間において創造性を高めるICT活用の実践

Pestalozzi Technology



CFD販売株式会社

埼玉大学教育学部附属小学校



学習や経験を基に、直面している問題場面から新たな問いや問題を見いだすことができるような児童の育成

船橋市立金杉台小学校

教員が社会と繋がり授業デザインを行える学校づくりを実現

愛知県立刈谷工科高等学校

車の自動運転技術を中心とした、授業展開の研究
持続可能な社会実現のための人材育成



体育、理科探求、情報プログラミングの授業を組み合わせ、ボッチャの授業



聖学院中学校高等学校

Mikulak Inc.

非同期型遠隔体育授業の実践を通して、協働的な学びや創造性教育の実現

累計全国26校

千葉大学教育学部附属小学校

大人（企業・NPO）との協働で子どもの創造性を育成する社会科学習



Event



EIC2023 TOKYO

『協働と創造の授業へ』

日時：令和6年2月3日

会場：御茶ノ水カンファレンスセンター

内容：コンテスト、実践発表、年次報告

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

コレクティブの活動に共感いただき心から感謝申し上げます。子ども達の未来のために、これからも末永くご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

 デジタルハリウッド株式会社	 NPO法人モバイルコミュニティファンド ドコモ市民活動団体助成事業	 公益財団法人高原環境財団 公益財団法人高原環境財団
 公益社団法人国土緑化推進機構 緑の募金	 認定NPO法人J-POSH 日本乳がんピンクリボン運動	 公益財団法人東京都中小企業振興公社 公益財団法人東京都中小企業振興公社
 株式会社ツクリエ	 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 National Institute of Informatics 大学共同利用機関法人国立情報学研究所	 株式会社meleap
 株式会社ミライクルラボ	〈その他〉 ・株式会社CHEERS主催のクリスマスフェスティバルに参加した子どもたちからの寄附金 ・ベネッセ教育総合研究所との共同研究	

2023年度までにコレクティブは全国36校の小中学校、高校に企業やNPOと協働した授業を届けました。北海道、愛知県、埼玉県、神奈川県、千葉県、東京都など、計2,160名の子ども達が「未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する教育」を受けることができました。

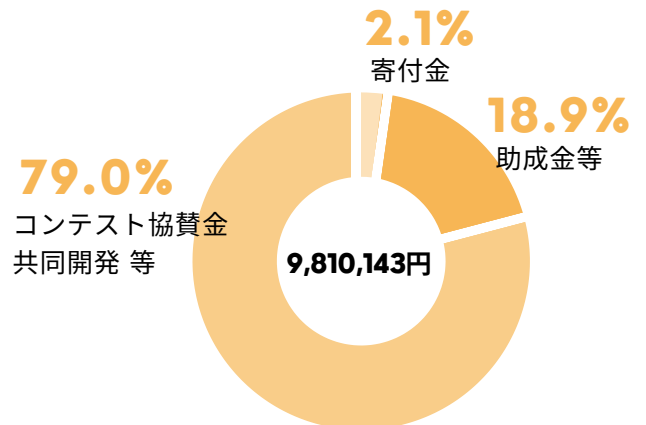
活動計算書

(単位：円)

科目		金額	
当期 経常 増減 の部	1 受取会費	0	
	2 受取寄付金	81,300	
	3 受取助成金等	1,911,000	
	4 事業収益	7,780,835	
	5 その他収益	37,008	
	経常収益計	9,810,143	
	1 事業費	人件費	4,456,700
		その他経費	4,512,548
		事業費計	8,989,248
	2 管理費	管理費計	596,938
経常費用計	9,566,186		
当期経常増減額	243,957		
法人税、住民税及び事業税	94,500		
前期繰越正味財産額	▲4,118,503		
次期繰越正味財産	▲3,969,046		

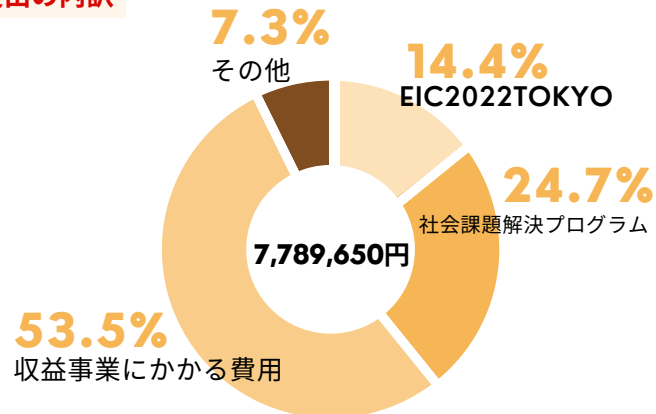
(2023年4月1日～2024年3月31日)

収益の内訳



2023年度は、助成金の額が1,911,000円（前年比328%）と大幅に増加し、事業を拡大することができた。次期の目標としては、同額の寄付金を企業様からお預かりし、事業規模を2倍に拡大したい。

支出の内訳



寄付金及び助成金は、全額を社会課題解決プログラムの運営費として使用いたしました。EIC2023TOKYOは、協賛企業様のご支援で運営しております。2024年度のご支援も、どうぞよろしくお願いいたします。

Donation

本活動にご協力くださる皆様からの寄付を随時受け付けております。
お電話、もしくはWEBサイトからお申し込み・お問い合わせください。

☎ **03-6555-1629**

🔍 **NPO コレクティブ** ⋮



collective-sc.org

団体概要

組織体制（2024年3月31日現在）

理事会

代表理事 秋元 平良

副代表理事 佐々木 廣継

副代表理事 小澤 真紀

理事 片桐 光義

監事 赤沢 佑輝

ファウンダー

白井純信（株式会社Advacom）

釜石剛（株式会社COCOON LABO）

内木広宣（株式会社ピコトン）

宇野治（一般社団法人Youth Econet）

山本シュウ（一般社団法人オセッカイダー）

遠山健太（株式会社ウィングート）

杉山豊（waratte）

ベルトンシェイン（ファンタムスティック株式会社）

村田有正（日本コロムビア株式会社）

本郷真平

参加教員 計66名

スタッフ 2名

NonProfitOrganization
COLLECTIVE

特定非営利活動法人
COLLECTIVE

web <https://www.collective-sc.org/>

email info@collective-sc.org

住所 東京都千代田区神田猿樂町2-8-11
Vort水道橋III9階

電話 03-6555-1629



[collective-sc.org](https://www.collective-sc.org)